

平成27年度 トピックス

分子・物質合成プラットフォームにおける利用成果
質量分析を用いた食品成分の解析

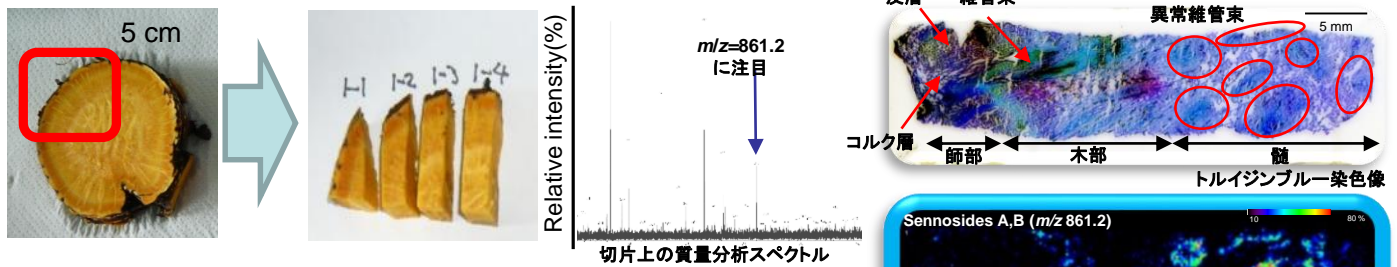
^a福井県立大学生物資源学部
平 修

【目的】

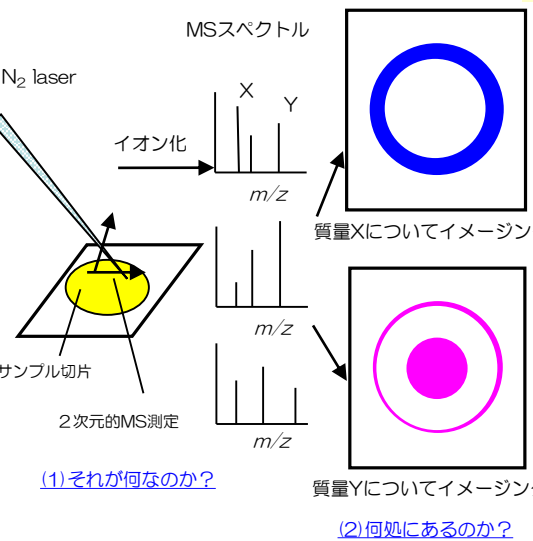
生薬では通常、不必要な部分が除去されるが、調製法の妥当性については不明な点もある。そこで、ダイオウの根茎についてイメージングMSを行い、二次代謝産物の組織内分布像を得ることで、調製法に科学的根拠を与えることを目的にした。

【成果】

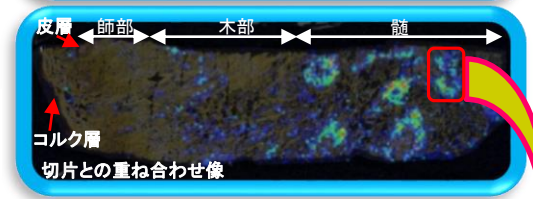
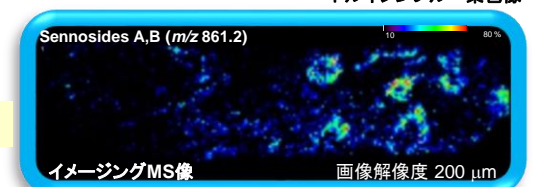
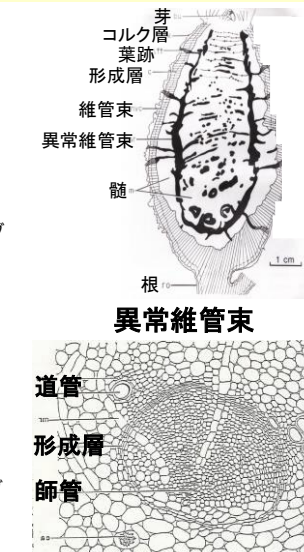
センノシドは根茎の髄の中でも、特に異常維管束における局在が視覚的に示された「異常維管束が認められることが、大黄の正品である証しである」とする鑑定上の見解は、暗にセンノシドの存在を指していたとも考えられ、このことが今回のイメージングMSによる研究で証明された。



イメージング質量分析^{1,2}とは



大黄の根茎の放射方向縦断面



異常維管束部位を拡大

